

## 2022 山形県（山形地区）低学年ミニサッカーゲーム 実施要項

- 1 主 催 NPO法人山形県サッカー協会
- 2 主 管 山形地区サッカー協会4種委員会
- 3 目 的 小学1・2・3年生を対象に定期的なゲーム（5対5or6対6）を実施し、適正なゲーム環境の整備とサッカーを通して心身の健全育成と親睦を図る。
- 4 期 日 2022年 8月7日（日）
- 5 会 場 山形市球技場
- 6 参加資格 ①公益財団法人日本サッカー協会（以下「本協会」）第4種に加盟登録し、スポーツ傷害保険等に加入していること。  
②小学3年生以下の選手で構成されていること。（合同チームの参加も認める）  
※本大会は「JFA サッカー活動の再開に向けたガイドライン」  
（[https://www.jfa.jp/about\\_jfa/guideline.html](https://www.jfa.jp/about_jfa/guideline.html)）、「試合の開催について」及び「新型コロナウイルスの影響下における参加チーム遵守事項」を適用し、開催運営します。各チームはガイドライン等をチーム関係者に周知し遵守の上、参加してください。  
参加チームは「新型コロナウイルス感染拡大防止対策チェックリスト」1部及び「山形県サッカー協会 大会参加者健康チェック表 チーム用」2部を記入作成し、会場責任者（主管チーム）に提出してください。なお、大会参加者健康チェック表は選手、指導者のほか、会場に入場する保護者等を含めて作成してください。（使用会場において、指定の様式がある場合等は、会場の指示に従うこと。）
- 7 チーム構成 ①同じ学年の選手で構成する。  
②所属チームで編成が不可の場合、大会事務局が合同チームを編成する。
- 8 試合方法 ①試合はU-7、U-8、U-9別の対戦とする。  
②試合時間は7分間とし、試合間のインターバルは3分とする。  
③各チーム、6試合以上確保すること。  
④ピッチマネージャーを1or2名配置し、審判を含め試合の円滑な進行を行う。  
⑤暑熱下において、適時にCooling Break又は飲水タイムを採用する。
- 9 競技規則 ①本協会「JFA スモールサイドゲームガイドライン」によるが詳細は委員会で決定する。  
②グラウンドの広さは原則33×24mとする。ゴールは2×1mを使用する。ペナルティエリア、ゴールエリアは設けないこととする。  
③試合球は持ち寄りとする。  
④1チーム5人または6人の競技者によって行われる。ゴールキーパーは置かないこととする。  
⑤交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場することができる。交代の回数は制限されない。  
⑥ボールがタッチラインを出た場合は、キックインにより再開する。ただし、ピッチマネージャーの判断により、ドリブルインにより再開することができる。  
⑦ゴールキックによる再開は、ゴールライン上からのキックインとする。ただし、ピッチマネージャーの判断により、ドリブルインにより再開することができる。  
⑧オフサイドは適用しないこととする。
- 10 競技者のユニフォーム  
ユニフォームは限定しない。対戦相手が識別出来るようピブスでも可とする。
- 11 ピッチマネージャー  
ピッチマネージャーは当該試合の両チーム指導者各1名の2名を配置することとする。（ピッチマネージャーの配置・役割を参照。）
- 12 参加申込 参加希望チームは、7月15日（金）まで、山形地区4種委員会に参加申込すること。
- 13 参加費 無料とする。

- 14 負傷者等に対する対応と災害発生に対する措置について
- ①大会中における怪我等については各チームの責任に帰するものとする。
  - ②各チームにおいて熱中症予防（対策）及び新型コロナウイルス感染拡大防止対策に努めるものとする。
  - ③災害等が発生した場合は、各会場の災害対応マニュアルに従い避難する。  
（サッカー競技規則2021/2022「サッカー活動中の落雷事故の防止対策についての指針」参照）
  - ④救急車を呼ぶ場合は、大会本部に連絡の上、会場の山形市球技場（023-674-7096）から呼んでもらうこと。
- 15 その他 ①本大会要項に定めない事項は山形地区4種委員会にて協議のもと決定する。
- 16 問合せ 山形地区4種委員会 ya4shu2018@yahoo.co.jp

## ピッチマネージャーの配置・役割

ゲームは子どもたちのもの。  
大人（ピッチマネージャー）の役割は、子どもたちがサッカーのゲームを安全に、健全に、安心してプレーできる環境を作ること。  
子供たちの成長は、サッカーが促してくれます。

### ピッチマネージャーの配置：

- ・U-10年代のミニサッカーには、各ピッチにピッチマネージャーを配置する（審判は配置しない）
- ・ピッチマネージャーは、高校生年代でも十分に機能する

### ピッチマネージャーの役割：

- ・それぞれのピッチでのスムーズな運営
- ・セルフジャッジの仲裁
- ・プレーに対する肯定的なフィードバック・励まし
- ・フェアプレーの促進
- ・時間・交代・得点の管理
- ・配球
- など

## ピッチマネージャーの配置・役割

### ピッチマネージャーの配置：

各ピッチに1-2名以上配置できると望ましい。

### ピッチマネージャーの役割：

- ①これから行うゲームの参加選手を確認／選手交代の対応
- ②タイムキーパー（全ピッチで一斉開始・終了の場合もあり）
  - ・開始前に作戦会議の時間を取る（ゲーム形式が変わる場合など）
  - ・ゲーム開始
  - ・ゲーム終了
- ③ゲーム中は基本的に見守る
  - ・プレーが継続しやすいようにボールの準備・配球に気をつける
  - ・選手交代の対応
  - ・肯定的なフィードバック・励まし
  - ・子どもたちのセルフジャッジをうまく促す／フェアプレー推進
  - ・ケガの対応等／欠員が出たら代わって参加
- ④次に行うゲームへの誘導

## 試合の開催について

### ※基本的にすべての行動での三密は避ける

#### 【会場】

- ▶ 防球ネット内は、当該試合の監督・コーチ・選手・運営関係者以外立ち入り禁止とする。
- ▶ 基本的にスタンドの無い会場内（学校等）は、施設の留意事項に従うこととする。  
「新しい生活様式」を守りチーム毎まとまっでの観戦や発声はしない。
- ▶ 各チームは事前に、保護者の方々が密の状況を作らず感情的になって大声で叫ばないように行動してもらえるか、協力の徹底をお願いすること。
- ▶ 駐車場や施設内では少人数で行動し密を避ける。

#### 【試合開始】

- ▶ 用具チェック 通常通り試合前に行う。
- ▶ セレモニーは、相手チーム、審判との握手は実施しない。

#### 【試合中】

- ▶ 得点時にハイタッチ、抱擁は極力避ける。
- ▶ ピッチ上でチームメイト、審判員と会話する際にも互いの距離についてしっかりと配慮する。

#### 【ベンチ内】

- ▶ 三密を避けた行動を心がける。
- ▶ 指導者も含めむやみに大声を出さない。
- ▶ 選手、本部、審判も含め飲料水は、個人で準備し各人の責任において処理をする。

#### 【試合終了後】

- ▶ セレモニーは、相手チーム、審判との握手は実施しない。
- ▶ ベンチ前（相手・自チーム）での挨拶・握手などは実施しない。
- ▶ スタンド・応援席への挨拶も実施しない。速やかにベンチを空け会場から移動する。

## 新型コロナウイルスの影響下における参加チーム遵守事項

1. チーム代表者は選手及びスタッフが以下の事項に該当する場合、チーム帯同を見合わせること。
  - ・体調が良くない場合。(例：発熱・咳などの症状がある場合)
  - ・同居家族及び身近な人に感染が疑われる方がいる場合。
  - ・過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合。
2. 移動時の対応
  - ・出発時に選手及びスタッフに検温及び上記を確認し、チェックリストに記入すること。
  - ・可能な限り、小グループでの移動を心掛け、マスク着用、換気等の対策を行うこと。
3. 会場における感染防止対策
  - ・飲水ボトルを共有しない。(各自個人毎の準備)
  - ・ごみは個人で管理し、収集、持ち帰り処分すること。(密閉すること)
  - ・会場内に準備してある消毒液とポンプ型石鹸で手の消毒をこまめに行うこと。
  - ・プレー中以外はマスク着用のこと。(熱中症が懸念される状況下では、距離を保ったうえでマスクを外す)
  - ・飲みきれなかった水やスポーツドリンクは指定場所に捨てること。
4. 事後対応
  - ・大会後にチームから新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者へ報告すること。